



平成27年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドクターシーラボ
コード番号 4924 URL <http://www.ci-labo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 智美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小杉 裕之

四半期報告書提出予定日 平成26年12月11日

TEL 03-6419-2500

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第1四半期の連結業績(平成26年8月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第1四半期	7,583	5.7	860	△26.3	901	△23.4	575	△19.4
26年7月期第1四半期	7,174	△0.4	1,167	△16.7	1,176	△17.2	714	△19.0

(注) 包括利益 27年7月期第1四半期 616百万円 (△13.7%) 26年7月期第1四半期 713百万円 (△19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第1四半期	23.11	—
26年7月期第1四半期	28.68	—

(注) 平成26年2月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年7月期第1四半期	25,188	21,339	84.7	856.05
26年7月期	27,691	22,741	82.1	912.33

(参考) 自己資本 27年7月期第1四半期 21,339百万円 26年7月期 22,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	—	—	81.00	81.00
27年7月期	—	—	—	—	—
27年7月期(予想)	—	—	—	82.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年7月期の連結業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	10.5	3,800	3.0	3,800	2.1	2,400	4.9	96.28
通期	39,300	9.4	8,500	13.2	8,500	12.3	5,400	17.7	216.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年7月期1Q	25,427,300 株	26年7月期	25,427,300 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年7月期1Q	500,038 株	26年7月期	500,038 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年7月期1Q	24,927,262 株	26年7月期1Q	24,927,300 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)平成26年2月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。
発行済株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、弱さが見られましたが、緩やかな回復基調が続いております。ただし、海外景気の下振れなど、わが国の景気を下押しするリスクが存在しております。

このような環境の中、当社グループは、顧客基盤を強固なものとするべく、新規顧客の獲得に加え、既存顧客へ継続購買を促す施策を行ってまいりました。また、新商品発売及び既存商品のリニューアルを行うなどして、商品展開の充実を図る活動を行ってまいりました。

販路別に見ますと、通信販売においては、インフォマーシャルを中心としたマス広告で獲得した新規顧客に対して、定期配送へのご利用を促進することで継続購入の向上を図る施策に注力いたしました。定期配送のさらなるサービス充実を図るべく、平成26年9月に従来の「定期お届け便」から「定期トクトク便」へとリニューアルを行い、定期配送の売上高は前年同期比で15.2%増となりました。以上により、通信販売の売上高は5,314百万円となり、前年同期と比較して14.6%増加いたしました。

対面型店舗販売では、ジェノマーブランドの既存商品のリニューアル及び新商品の発売により、百貨店販路のテコ入れを行ってまいりました。またお手入れ会やカウンセリングサービスを実施することにより、お客様との関係を強化することで、売上高拡大に努めてまいりました。以上により、対面型店舗販売の売上高は、866百万円となり、前年同期と比較して4.2%増加いたしました。

卸売販売においては、前年同期に「アクアコラーゲンゲルエンリッチリフトEX」のリニューアルに伴う大きな初期出荷がありましたが、当第1四半期連結会計期間では大型新商品等の出荷は無かったため、出荷額は反動減になりました。また、第3四半期以降、商品リニューアル及びドラッグストアへの卸売販路専用商品配下を予定していることもあり、特段大きな販促活動を行いませんでした。以上により、卸売販売の売上高は、1,262百万円となり、前年同期と比較して19.4%減少いたしました。

海外においては、香港・台湾はほぼ前年同期並みの販売状況でございました。香港では有名チェーンストアのマニグスでの商品展開を進め、台湾ではラボラボブランドの卸展開に向けて準備を進めております。シンガポールでは、現地雑誌に商品掲載を行うなど、認知度を向上させる施策を講じたことにより、前年同期を大きく上回る販売状況でございました。「シンガポール ION オーチャード店」では、観光客の多い”オーチャードロード”の利点を活かし、今後もアジアのショーケースとして、近隣諸国のお客様への認知度を高めてまいります。以上により、海外事業の売上高は、138百万円となり、前年同期と比較して0.5%増加いたしました。

利益面では、前年同期と比較すると売上高が増加した一方、インフォマーシャルなどのマス広告の出稿を積極的に行ったことにより、営業利益率は11.4%と前年同期の水準を下回り、営業利益は860百万円となり、前年同期比で26.3%減少いたしました。

以上により、売上高は7,583百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益は901百万円（前年同期比23.4%減）、四半期純利益は575百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<化粧品事業>

化粧品事業においては、ドクターシーラボブランドは、アクアコラーゲンゲルシリーズが前年同期にリニューアルに伴う初期出荷があったため微減となった一方で、「簡単ひと塗り白髪カバー」の売上高が大幅に増加しました。また、ファンデーション商品群の強化の一環として、当第1四半期連結会計期間に、新商品「パーフェクトゲルファンデーション」を発売し、好調な売れ行きとなっております。ジェノマーブランドは、既存商品のリニューアル及び新商品の発売により、店頭における認知度向上を図る施策を講じてまいりました。ラボラボブランドにおいては、ドラッグストアにて限定セット商品の発売や、異業種企業とのサンプリング企画を実施するなど、販売店の店頭における存在感の向上を図っております。

以上により、化粧品事業の売上高は、6,493百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は969百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

<健康食品事業>

健康食品事業においては、前連結会計年度に引き続き、「美禅食」を中心に売上高が好調に推移しました。また、サプリメント商品群を充実させる一環として、当第1四半期連結会計期間に、新商品「特濃ブルーベリーアサイブラス」、「5つのサポートグルコサミン」を発売しました。一方、売上高の拡大のための積極的な広告活動を行ったことにより、営業損益は前年同期を下回る結果となりました。

以上により、健康食品事業の売上高は、1,090百万円（前年同期比28.2%増）、営業損失は108百万円（前年同期は営業利益186百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月10日に発表しました連結業績予想は変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,114,285	14,208,363
売掛金	4,145,419	3,256,491
有価証券	251,306	251,333
商品及び製品	2,165,846	2,471,820
原材料及び貯蔵品	1,583,548	1,485,805
その他	679,687	780,096
貸倒引当金	△86,398	△92,803
流動資産合計	24,853,694	22,361,108
固定資産		
有形固定資産		
建物	765,910	769,679
減価償却累計額	△296,328	△308,848
建物(純額)	469,582	460,831
工具、器具及び備品	1,280,230	1,286,386
減価償却累計額	△1,051,170	△1,065,564
工具、器具及び備品(純額)	229,059	220,822
土地	1,315,697	1,315,697
その他	103,057	110,388
減価償却累計額	△36,230	△40,089
その他(純額)	66,827	70,299
有形固定資産合計	2,081,166	2,067,650
無形固定資産		
ソフトウェア	354,101	307,576
その他	29,627	63,935
無形固定資産合計	383,728	371,512
投資その他の資産	372,890	387,959
固定資産合計	2,837,786	2,827,121
資産合計	27,691,480	25,188,230

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	939,596	856,453
未払金	1,729,634	1,398,791
未払法人税等	1,633,803	342,986
賞与引当金	87,209	302,637
ポイント引当金	92,327	95,625
その他	234,802	622,416
流動負債合計	4,717,374	3,618,911
固定負債		
退職給付に係る負債	132,254	136,068
その他	99,946	94,178
固定負債合計	232,200	230,246
負債合計	4,949,575	3,849,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209,208	1,209,208
資本剰余金	1,686,608	1,686,608
利益剰余金	21,198,200	19,755,080
自己株式	△1,354,685	△1,354,685
株主資本合計	22,739,331	21,296,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,341	16,733
為替換算調整勘定	△2,768	26,125
その他の包括利益累計額合計	2,573	42,859
純資産合計	22,741,905	21,339,071
負債純資産合計	27,691,480	25,188,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成26年10月31日)
売上高	7,174,627	7,583,306
売上原価	1,283,683	1,367,869
売上総利益	5,890,944	6,215,436
販売費及び一般管理費	4,723,766	5,354,666
営業利益	1,167,177	860,769
営業外収益		
受取利息	1,154	1,604
受取配当金	38	34
為替差益	1,559	26,473
受取手数料	2,608	6,041
商品破損受取賠償金	1,331	2,265
その他	3,135	4,851
営業外収益合計	9,826	41,271
営業外費用		
支払利息	223	178
その他	45	174
営業外費用合計	268	353
経常利益	1,176,736	901,687
特別損失		
固定資産除却損	483	426
特別損失合計	483	426
税金等調整前四半期純利益	1,176,253	901,260
法人税等	461,287	325,271
少数株主損益調整前四半期純利益	714,965	575,988
少数株主利益	—	—
四半期純利益	714,965	575,988

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	714,965	575,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	11,391
為替換算調整勘定	△809	28,894
その他の包括利益合計	△987	40,286
四半期包括利益	713,977	616,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	713,977	616,275
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	化粧品事業	健康食品事業	四半期連結損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	6,324,624	850,003	7,174,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	6,324,624	850,003	7,174,627
セグメント利益	980,916	186,261	1,167,177

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、健康食品事業の売上高及び利益が全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報の記載を省略しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より売上高及び利益の健康食品事業の開示情報としての重要性が増したため、「報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報」を記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	化粧品事業	健康食品事業	四半期連結損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	6,493,230	1,090,075	7,583,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	6,493,230	1,090,075	7,583,306
セグメント利益	969,149	△108,380	860,769

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。